



【取組内容】

“あなたの専属漁師”をコンセプトにした「**完全受注漁**」による**持続可能な漁業**を行う。

水産資源の乱獲、価格の不安定性、漁師の長時間操業による過労、後継者不足、食品ロス等、**漁業が抱える課題解決に寄与**。

2022年の完全受注漁の試験的実施により、**操業時間1/2減、売上2倍**となり、操業時間短縮による使用燃料も削減。

国内外のメディアからも注目を集める。

【評価のポイント】

普遍性	必要な分だけの魚を獲るという取組は、台湾やイギリス等の海外メディアからも注目を集めており、国際社会においてもロールモデルとなり得る。
包摂性	大量生産の文化を見直し、完全受注漁による漁業を行うことは、多様な人々が漁業へ参入をすることができる仕組みの構築につながる。
参画型	誰でも参入することができるように完全受注漁のノウハウを共有。販売ルートを他の漁師たちとも連携・共有し、顧客に安定供給を行う。
統合性	環境(漁獲量を減らし水産資源を守り、操業時間削減によりCO ₂ 排出量削減)、経済(効率的に働き、売上向上)、社会(漁師の後継者不足改善)の好循環を生んでいる。
透明性と説明責任	SNS等で積極的に活動報告を行い、メディアからの取材(70社程度)を受けることを通じて情報発信を行う。
変革性	気候変動や乱獲による水産資源の枯渇や、後継者不足が問題となっている漁業において完全受注漁を行うことが次世代の持続可能な取組となる。
連帯性と行動変容	地域の漁協と連携し漁業体験等を行うことで新たな収益を生み出し、高齢漁師も参加できるよう地域の飲食店と連携し町単位で受注漁を行う。

